

チーム・競技者 各位
各地区協会・各種連盟 各位
関係者 各位

(一財) 北海道バスケットボール協会

新型コロナウイルス感染症ガイドライン

「第10号通知(2022年5月31日作成)」

〔はじめに〕

本道において新型コロナウイルス感染症「まん延防止等重点措置」が2022年3月21日に解除され、少しずつですが平常を取り戻しつつあります。スポーツ活動も感染防止対策を継続しつつ、段階的に平常な活動に戻していく必要があります。

厚生労働省、文部科学省、スポーツ庁を始めとする行政機関より各種統括団体向けのガイドラインが策定され、状況により随時更新されております。また日本バスケットボール協会（以下、JBA）「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）第5版」（以下、JBAガイドライン）に基づき、北海道バスケットボール協会は、新型コロナウイルス感染症ガイドライン「第10号通知」を発出いたします。

事業・活動実施に向けた競技者・指導者、関係者等の活動時における感染拡大予防、ケガ等の防止のための留意点、そして大会運営や観戦者も含め大会再開へのプロセスや基準を整理し、まとめたものです。

引き続き感染状況等を鑑み、本ガイドラインも見直してまいりますことにご留意ください。

I ガイドライン策定の基本方針

1. 安全最優先

生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを低く抑え、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフ、それらの方々のご家族等が安全に活動できる環境を提供することを目指します。

2. ガイドラインの見直し

コロナ感染症が収束し、「日常」が即座に戻ることは難しい状況であるということを前提に、行政などの情報ならびに関わる知見等の分析・理解に基づき適宜ガイドラインの見直しをします。

II ガイドラインの運用方針

1. 本ガイドラインは、主に政府や上位団体が作成する指針、JBAガイドラインを参考に作成しています。その適用にあたっては、その時点での政府および北海道の方針や上位団体の方針が優先されるものとします。

2. 活動実施のプロセスには段階的なアプローチが不可欠であることを再認識する。

3. 環境に応じて、個人、少人数、チーム全体のトレーニングを使い分け、安全かつ効率的な練習を創出する。

4. 感染の再拡大などによって公的機関から大人数での事業・活動が制限される場合には、観客の入場制限、あるいは無観客とすることも留意する。

III 事業・活動の可否判断

事業・活動の可否判断では、競技会、練習会などの場合は、感染拡大防止及びケガ防止（選手のコンディション）の2点を考慮する必要がある、講習会事業等（座学が主となる場合など）においては、感染拡大防止を主に考慮し、主催者が総合的に判断することが必要となります。

IV 事業・活動等の形態による感染防止ガイドラインの基準について

事業（競技会、練習会、講習会等）の実施形態ならびに事業規模、会場・施設の状況等により、ガイドラインの基準を見直す場合があります。

V 感染拡大防止方針

1. 感染防止対策（健康チェック、マスク、手洗い・消毒、ディスタンスの確保、換気）は引き続き必要となります。タオル、水分摂取のボトルなど個人で用いるものは区別して取り扱うようにしてください。
2. 競技会・事業への参加時には、引き続き「健康チェックシート」「利用者名簿」の提出を必要とします。
3. チームは感染対策責任者を設置してください。事前・事業実施・事後に相互に連絡を取り合える環境を構築するためです。
4. マスクの着用について
活動中は熱中症などを考慮し、マスクを外すことが推奨されています。ただし、屋内での活動であることを考慮し、更衣中、練習の前後には「不織布マスク」を着用し、感染防止対策に配慮する必要があります。
5. 体調不良の場合の活動・事業への参加の可否について
該当チーム試合開始4日前からの体調不良者が出た場合には、該当者の参加は見合わせ、チーム参加の可否を検討します。
6. 「陽性者」「濃厚接触者」と判定された場合には、各自治体のガイドラインに従ってください。
7. 「濃厚接触が疑わしい者」の事業・活動への参加判断について
「濃厚接触が疑わしい者」とは「濃厚接触者判定において保健所が介入しない場合に独自判断した、定義上濃厚接触を満たす者」です。待機期間に関する行政からの通達はありません。
「濃厚接触者」同様に「無症状病原体保有者」である可能性が否定できないため、PCR検査などによる陰性証明を得ること、または濃厚接触者に準ずる待機期間を経て、活動・事業に参加することを原則とします。
8. 待機・隔離期間解除後の練習および競技会参加について
・ケガのリスクが高くなるので、適切な段階的復帰が必要になります。
・陽性者の場合、無症状でも、心臓・循環器系、血栓症などのリスクが報告されています。陽性者は無症状であっても段階的復帰が強く推奨されます。
9. 大会4日前からは濃厚接触者判定を避ける意味でも、自チーム以外との対外試合を行わないことを推奨します。
10. ワクチン接種について
ワクチン接種により感染・重症化・死亡全てにおいて90%以上のリスクの軽減があるとされていますが、副反応により発熱・倦怠感が生じる可能性があり、コンディション低下に繋がることもあります。競技会参加の1週間前には接種しないことを推奨します。
競技会参加は、4日前からの発熱の有無を確認しますが、この際に発熱が生じている場合に副反応によるものか、感染によるものか判別が困難なため、発熱（37.5度以上が目安）があれば参加自粛を勧告します。

VI その他

その他、感染防止対策は行政機関より発出されている情報を参照いただくようお願いいたします。

【追加資料1】

- ・JBA 新型コロナウイルス対策 情報集約ページ
http://www.japanbasketball.jp/covid-19_info
- ・JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220512.pdf

【追加資料2】

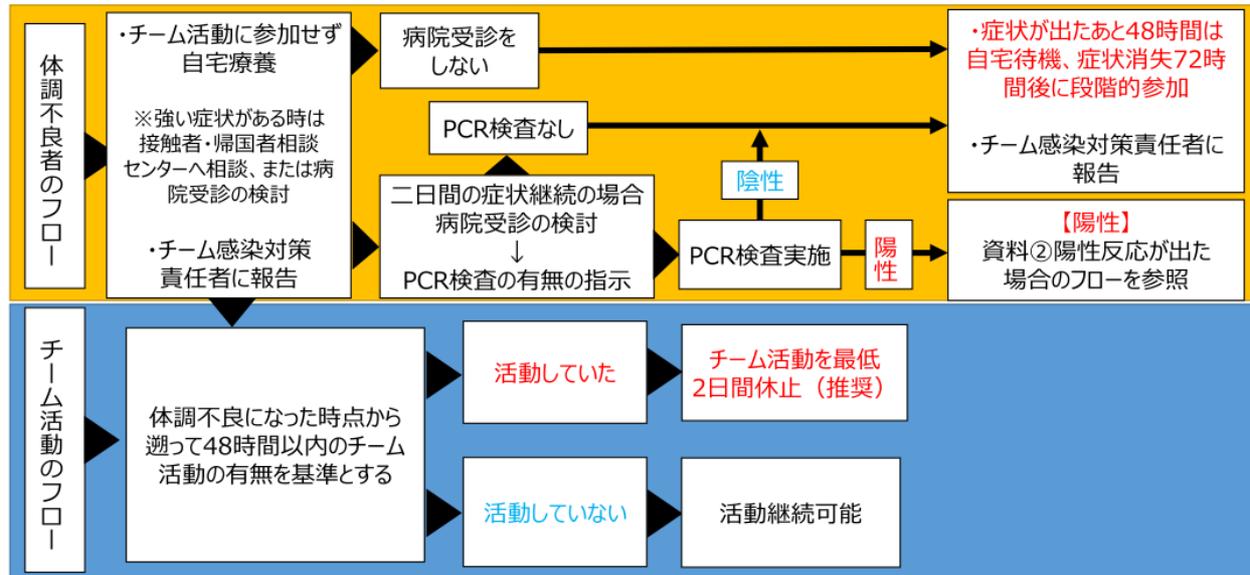
- ・JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン (P.21)

【チーム活動時におけるガイドライン】

資料①チーム内の選手・スタッフから
体調不良者が出た場合のフロー

【体調不良の基準】

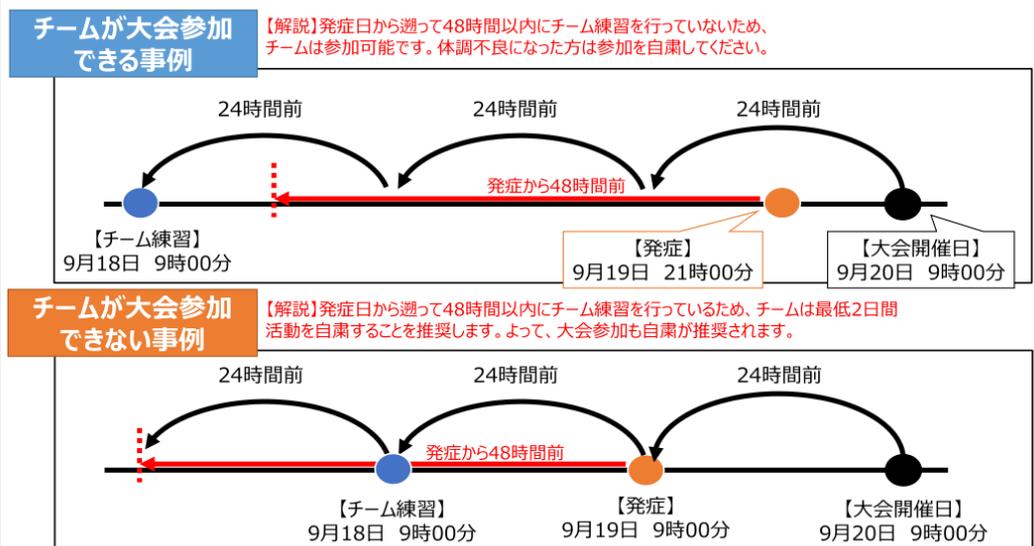
1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。



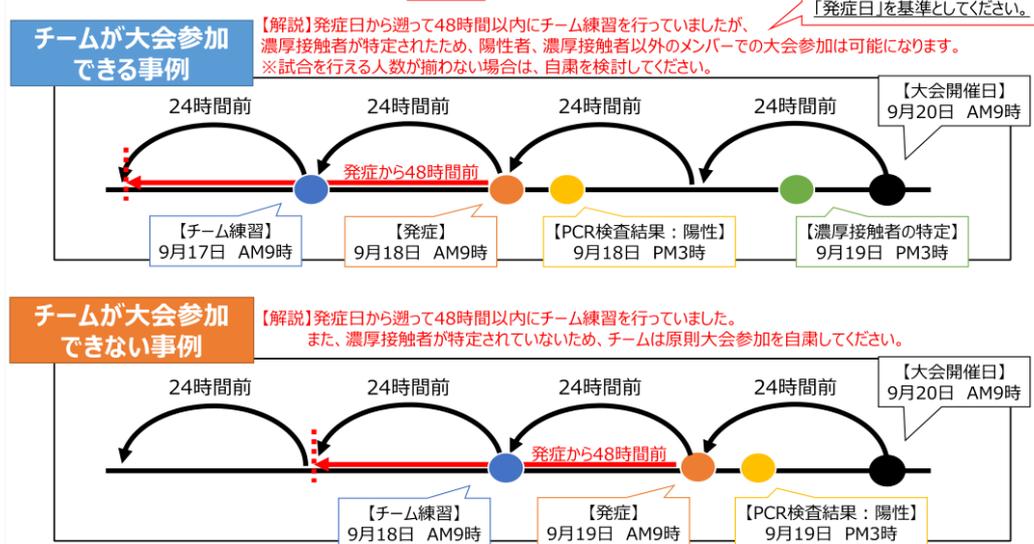
【追加資料3】

・JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン (P.36-38)

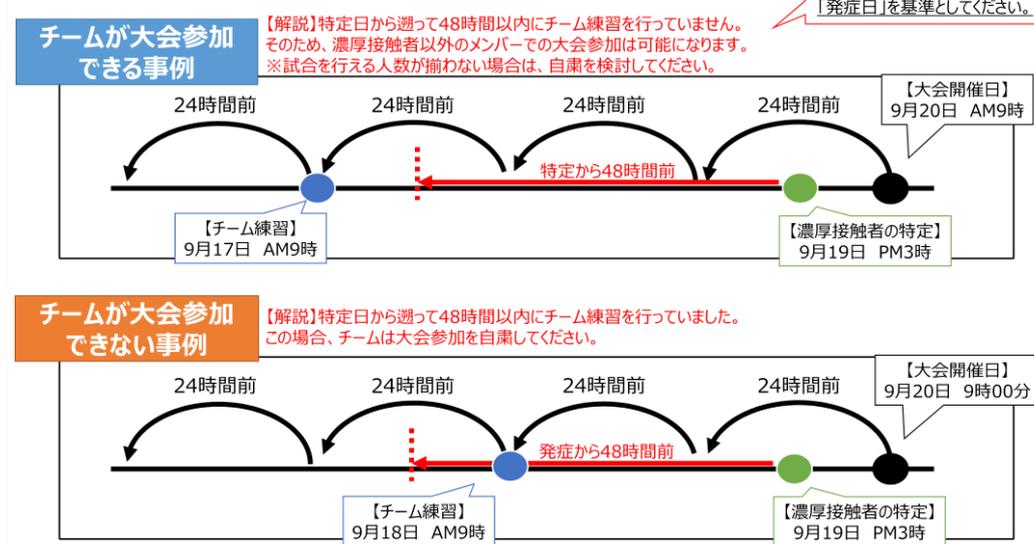
【大会参加可否の事例① チームから**体調不良者**が発生した場合】



【大会参加可否の事例② チームから**陽性者**が出た場合】

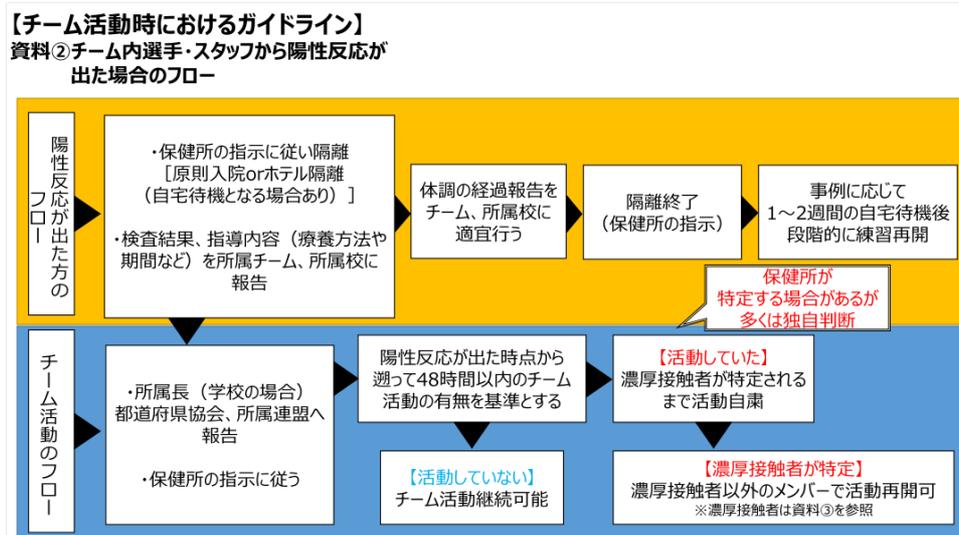


【大会参加可否の事例③ チームから**濃厚接触者**が出た場合】



【追加資料4】

・JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン (P.23)



【追加資料5】

・JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン (P.26)

